

115系 (新長野色)

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時 (祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

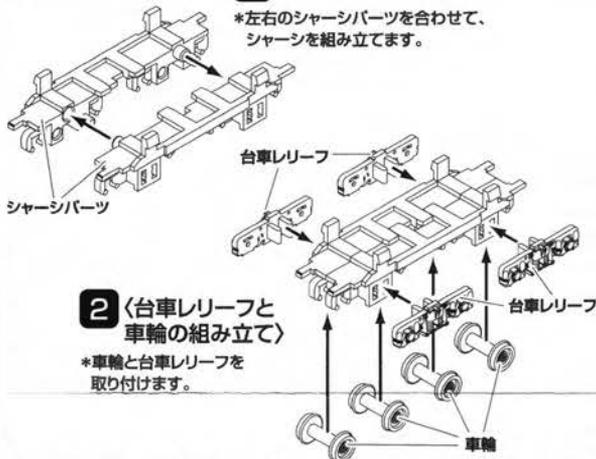
《商品・修理品送付先》 バンダイ 板木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おまのまのま 5-4-67

●営業時間 10時～17時 (土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <シャーシの組立>

*左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



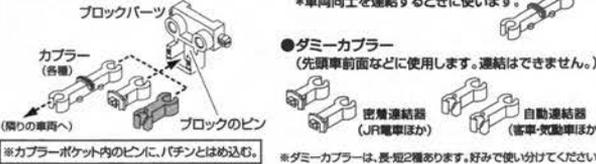
2 <台車レリーフと車輪の組み立て>

*車輪と台車レリーフを取り付けます。

台車レリーフの向きに注意。



カプラーの取付け方



- ドロワー *車両同士を接続するときに使います。
- ダミーカプラー (先頭車前などに使用します。接続はできません。) *密着連結器 (JR電車ほか) *自動連結器 (客車・気動車ほか)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット①」機関車用を使用します。
通常色(黒)と、グレーがあります。
*床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

- *EF200, EF210, DD53などは、車体長が長いのでカプラーの首振り角が充分にできません。直道運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット②」電車・気動車用
もしくは「同 動力ユニット③」路面電車用を使用します。



- *左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- *ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

*イラストは「動力ユニット②」電車・気動車用です。「動力ユニット③」路面電車用には前後のカプラーはありません。

- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。

- (追加)重量は、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用走行台車①」を使用します。
*付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
*取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを上げて調整してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- *旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー一台と車輪止めピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- *台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- *スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- *新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- *SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- *先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。
(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) *EF64c, DF50, DD53など、他の低い車両に装着できません。

- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT339タイプ 165系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT324タイプ 165系, 485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT619タイプ E261系など

- *「デビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、割り取り取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

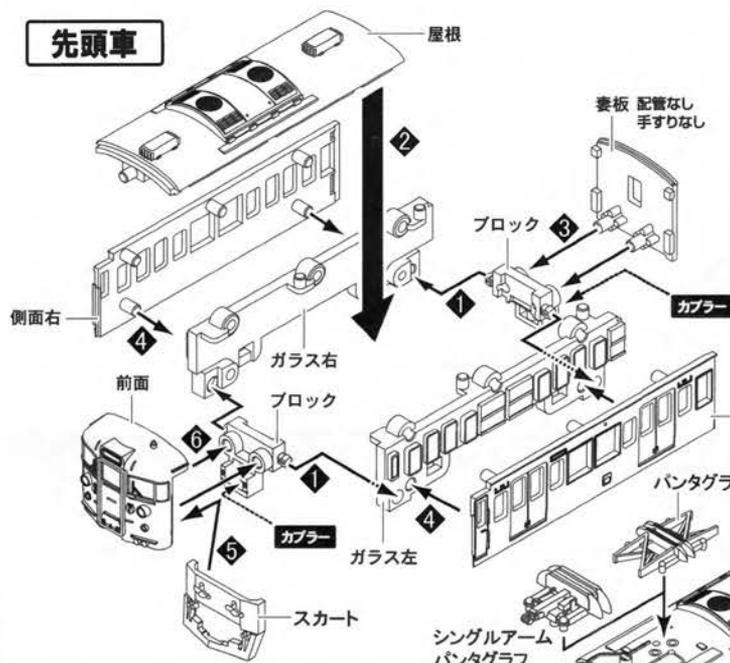
■パンタグラフの交換

- *お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO:11-401 PS14:直流/パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直流/パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直流/下付変形パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直流/パンタグラフ
- KATO:11-404, 11-420 PS16:直流/パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直流/パンタグラフ
- *11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。 クロスポイント:PT71C:シングルアーム/パンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

- *各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(悪い)場合もありますので、それぞれ調整の上取り付けてください。また、パーツによっては加工が必要なものもあります。
- *動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

先頭車



車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスクートを前面に取り付けます。)
- ⑦カプラーを最後にブロックのピンに取り付けます。



* サハ115形を組み立てる場合は、妻板を先頭車用「配管なし・手すりなし」に、台車レールを「TR62」にして組み立てるとより実車の形態に近づきます。

* クモハ115形を組み立てる場合は、妻板を中間車用「配管なし・手すりなし」に、台車レールを「DT-21」にして組み立てるとより実車の形態に近づきます。

* 取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

* 取説に記載されている車両は、パリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。
* また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

ステッカーの貼付け位置

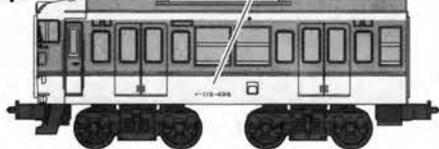
貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)



種別・方向幕
普通

車体番号 クハ115-496

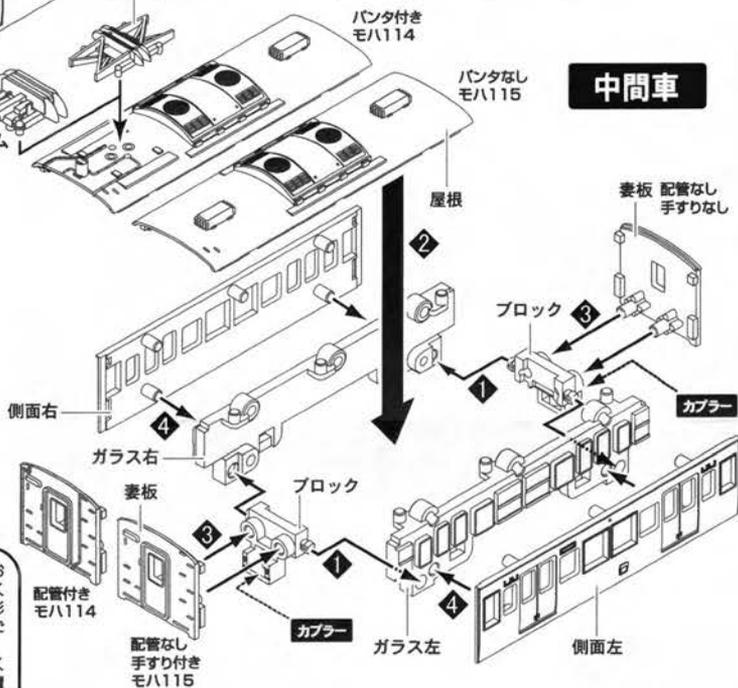
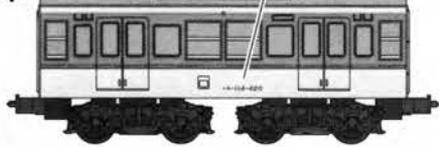
先頭車



車体番号 クモハ114-420

* 車体番号は、反対側も同じ位置(鏡対称)に貼ります。

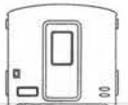
中間車



中間車

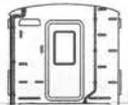
妻板について

先頭車用



配管なし・手すりなし
(クハ115形)

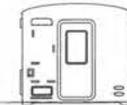
中間車用



配管付き
(モハ114形)



配管なし・手すり付き
(モハ115形)



配管なし・手すりなし
(モハ114・115形)
(クモハ115形)

実車の編成例

* 時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。
* 記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

←中津川・甲府・小善・立川

長野・南小谷・直江津・飯田→

6両編成	クハ115	モハ115	モハ114	モハ115	モハ114	クハ115	3両編成	クモハ115	モハ114	クハ115
	C5	443	417	443	394	420		496	N1	1072
C6	365	340	366	359	385	436	N3	1008	1013	1008
C7	1116	1052	1115	1036	1097	1221	N6	1068	1164	1211
C8	1512	1011	1042	1076	1140	1005	N7	1070	1167	1213
C9	387	361	387	362	388	440	N11	1522	1169	1232
C10	1115	1050	1113	1051	1114	1076	N16	1563	1137	1091
C11	1136	1074	1138	1077	1141	1095	N25	1001	1001	1001
C13	1127	1071	1134	398	424	1224	N29	1019	1025	1018
							N32	1009	1014	1009

新長野色

文字基



基本色

01-001	01-002	01-003	01-004	01-005	01-006	01-007	01-008
01-009	01-010	01-011	01-012	01-013	01-014	01-015	01-016
01-017	01-018	01-019	01-020	01-021	01-022	01-023	01-024
01-025	01-026	01-027	01-028	01-029	01-030	01-031	01-032
01-033	01-034	01-035	01-036	01-037	01-038	01-039	01-040
01-041	01-042	01-043	01-044	01-045	01-046	01-047	01-048
01-049	01-050	01-051	01-052	01-053	01-054	01-055	01-056
01-057	01-058	01-059	01-060	01-061	01-062	01-063	01-064
01-065	01-066	01-067	01-068	01-069	01-070	01-071	01-072
01-073	01-074	01-075	01-076	01-077	01-078	01-079	01-080
01-081	01-082	01-083	01-084	01-085	01-086	01-087	01-088
01-089	01-090	01-091	01-092	01-093	01-094	01-095	01-096
01-097	01-098	01-099	01-100	01-101	01-102	01-103	01-104
01-105	01-106	01-107	01-108	01-109	01-110	01-111	01-112